

2. ⑦地区における既存緑地の状況をふまえた土地利用計画について

緑地⑦ 本事業地区において主要な緑地区域であり、保全を前提としたより慎重な計画検討を行った。

検討については、以下の手順で進めた。

1) P14 に示す通り、当地区の「緑地状況（黄緑の塗り潰し）」に対して、「樹木群（緑の太破線）」と「大径樹単体（赤丸）」の状況を整理した。

（現況写真についてはP16・17 参照）

2) 上記の調査結果に、現計画線を重ね、可能な限り「樹木群（緑の太破線）」と「大径樹（赤丸）」を保存するように、4号公園の位置を見直す検討を進めた。（P15）

なお、計画上の制約条件（コントロールポイント）としては、

①移設不可能な水道管が埋設されている道路

②調整池へ向かう雨水幹線施設（計画）を設置するために必要となる道路

（①の制約道路により、交差点の位置についても制約される。）

③既存住宅（道路）があることによる、道路配置の制約が上げられる。

これらの条件をふまえて、公園の位置を可能な限り東側へ移動させた。

移動した結果の課題として、

1. 西側の医療系施設から公園までの距離が遠くなる。

2. 公園の端部に、既存の家屋が残存する。

事があげられる。

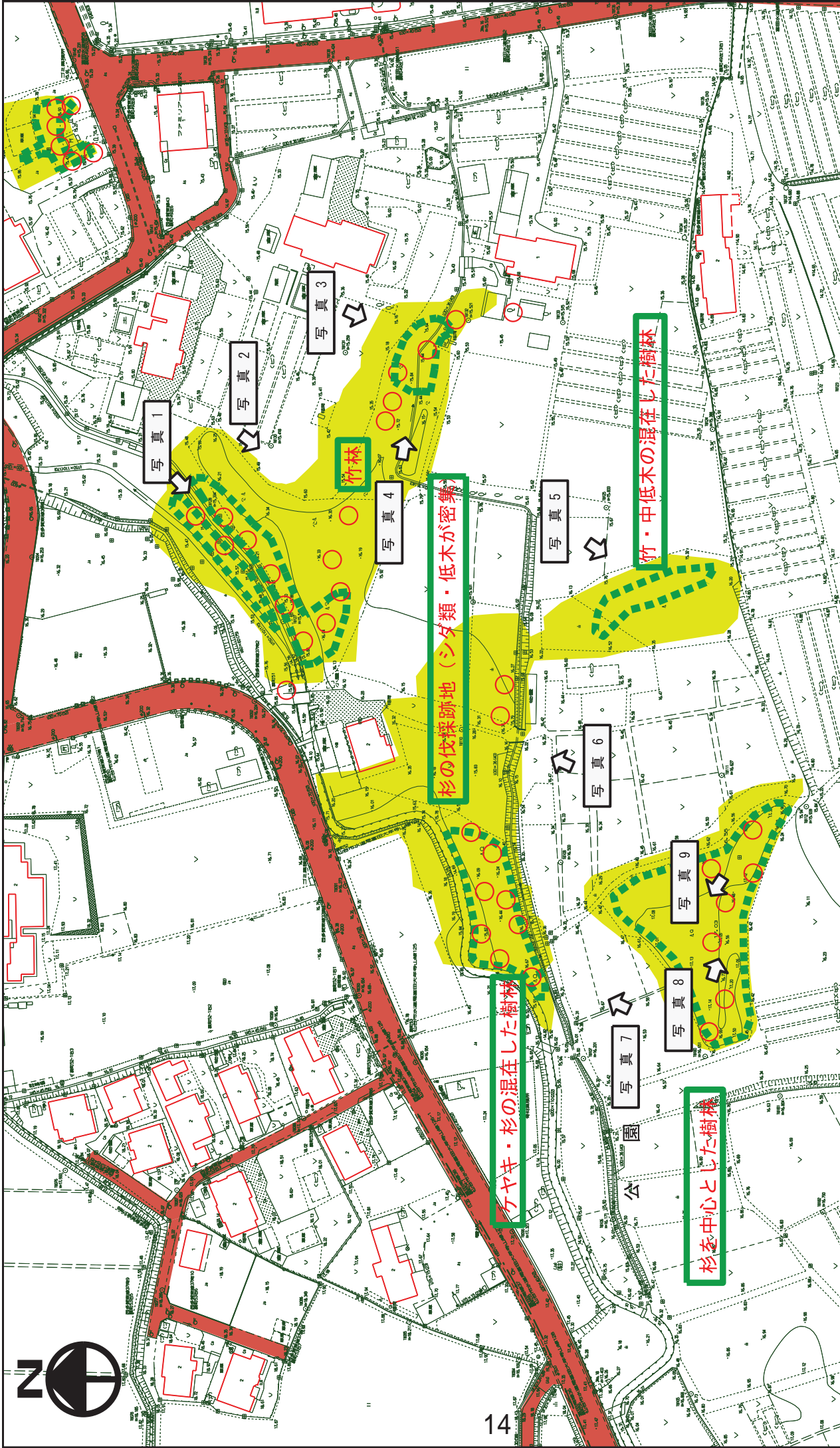
対策として、

1. については公園への動線確保（歩道、歩行者専用路）の整備により

2. については、家屋所有者への配慮（日照条件やフェンス等の対応、説明）

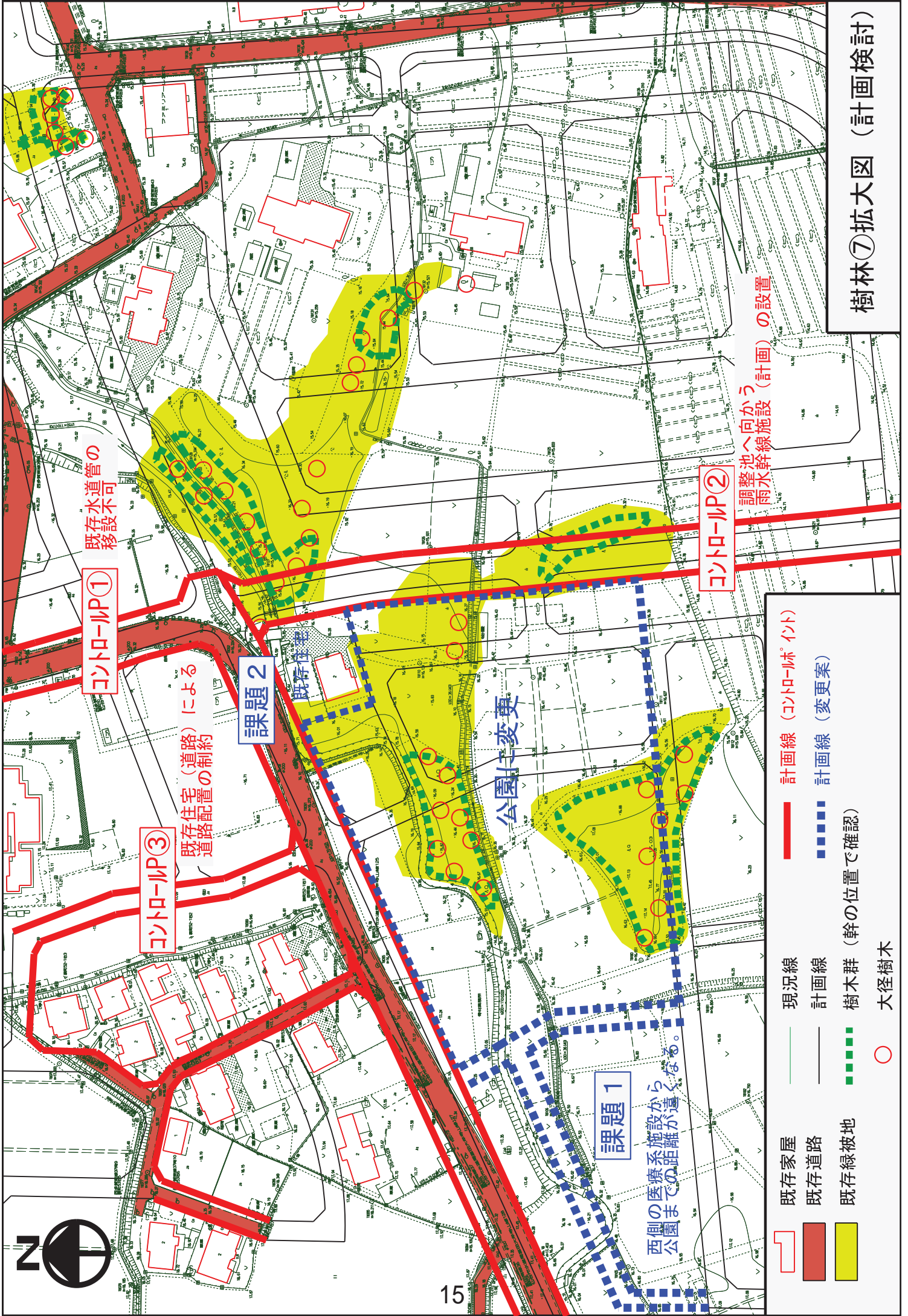
によって解決を図りたい。

3) 以上の結果として P18 に示す通り公園の配置を見直した。（P20・21 には変更前後の計画を示す。）なお、公園整備は組合設立後に行う公園管理者との実施設計協議をふまえて、事業者自らが実施する。



	既存家屋		現況線		写真撮影方向
	既存道路		樹木群 (幹の位置で確認)		
	既存緑被地		大径樹木		

樹林⑦拡大図 (現状)



既存水道管の
移設不可

コントロールP①

既存住宅(道路)による
道路配置の制約

コントロールP③

課題2

既存住宅

公園に変更

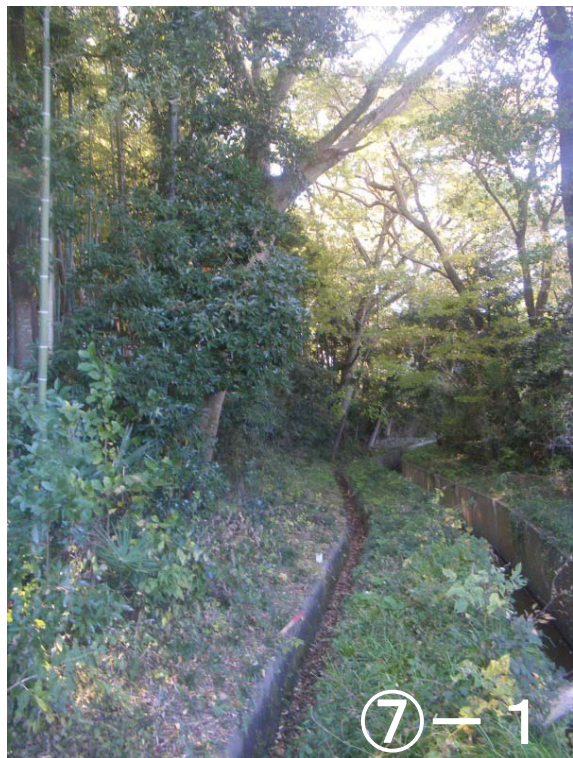
コントロールP②

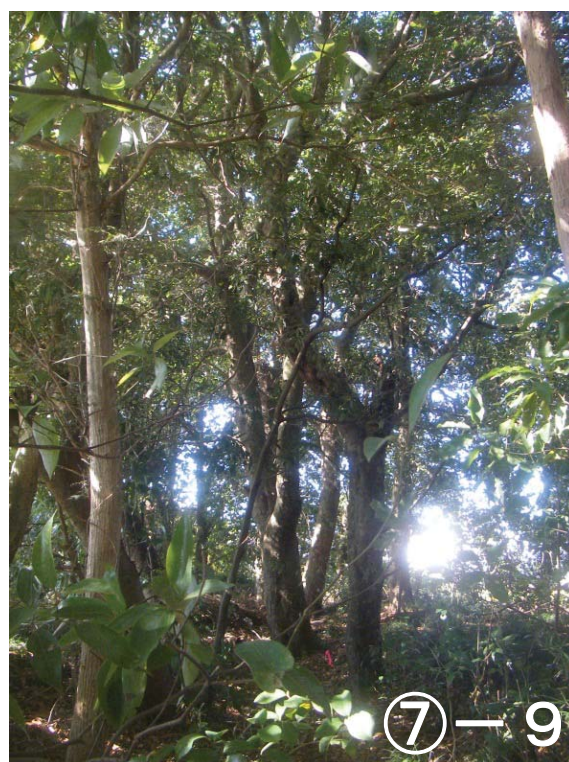
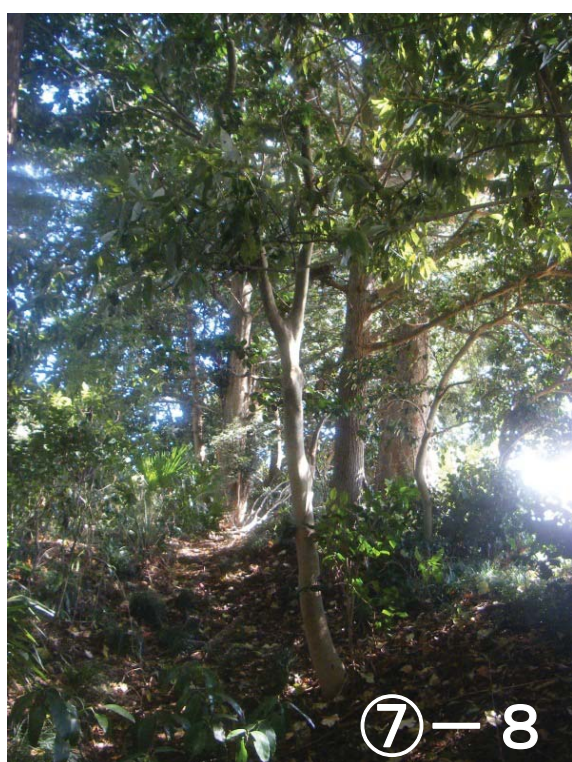
調整池へ向かう
雨水幹線施設(計画)の設置

課題1

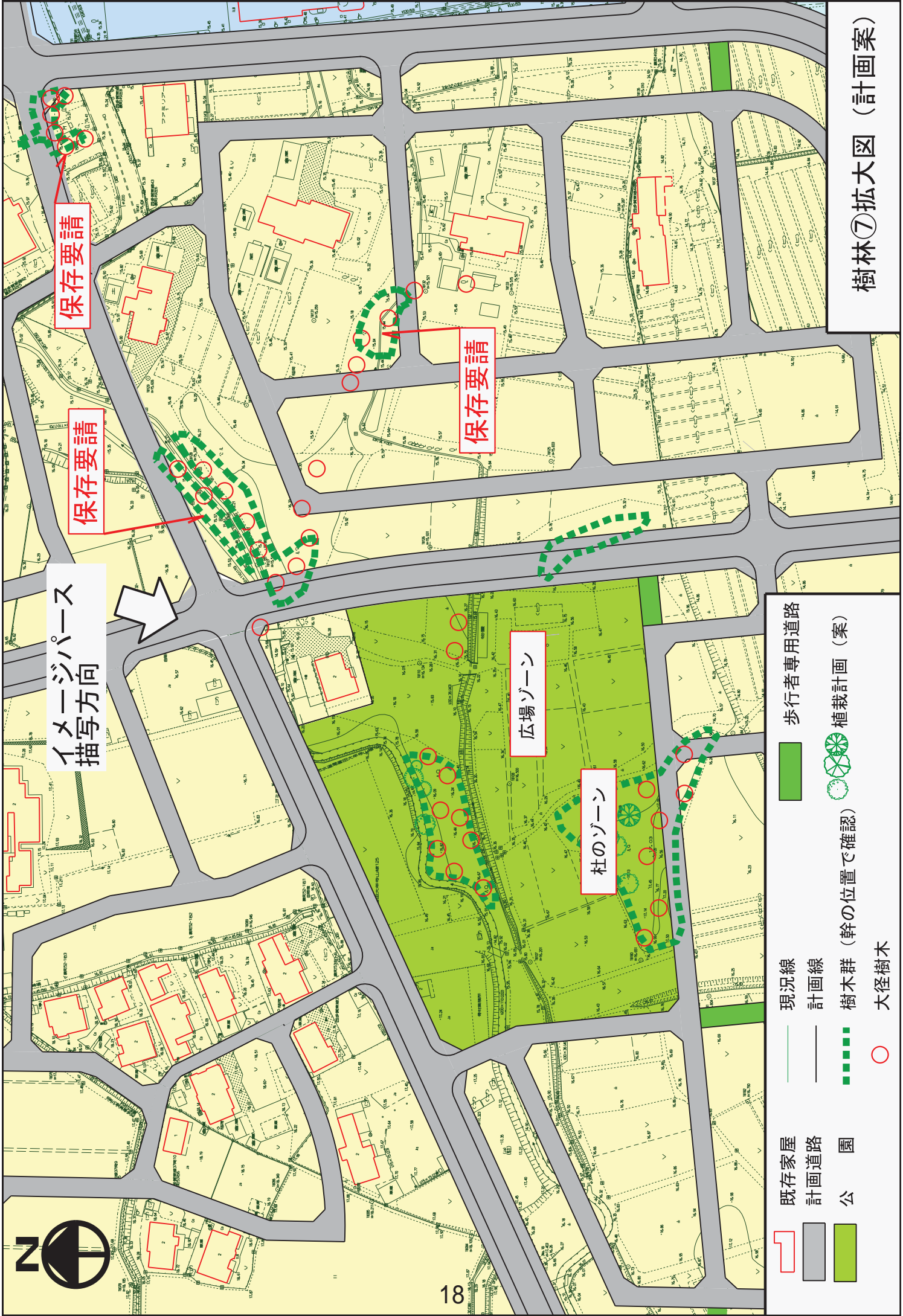
西側の医療系施設から
公園までの距離が遠くなる。

- 既存家屋
- 既存道路
- 既存緑被地
- 現況線
- 計画線
- 樹木群 (幹の位置で確認)
- 大径樹木
- 計画線 (コントロール・イント)
- 計画線 (変更案)



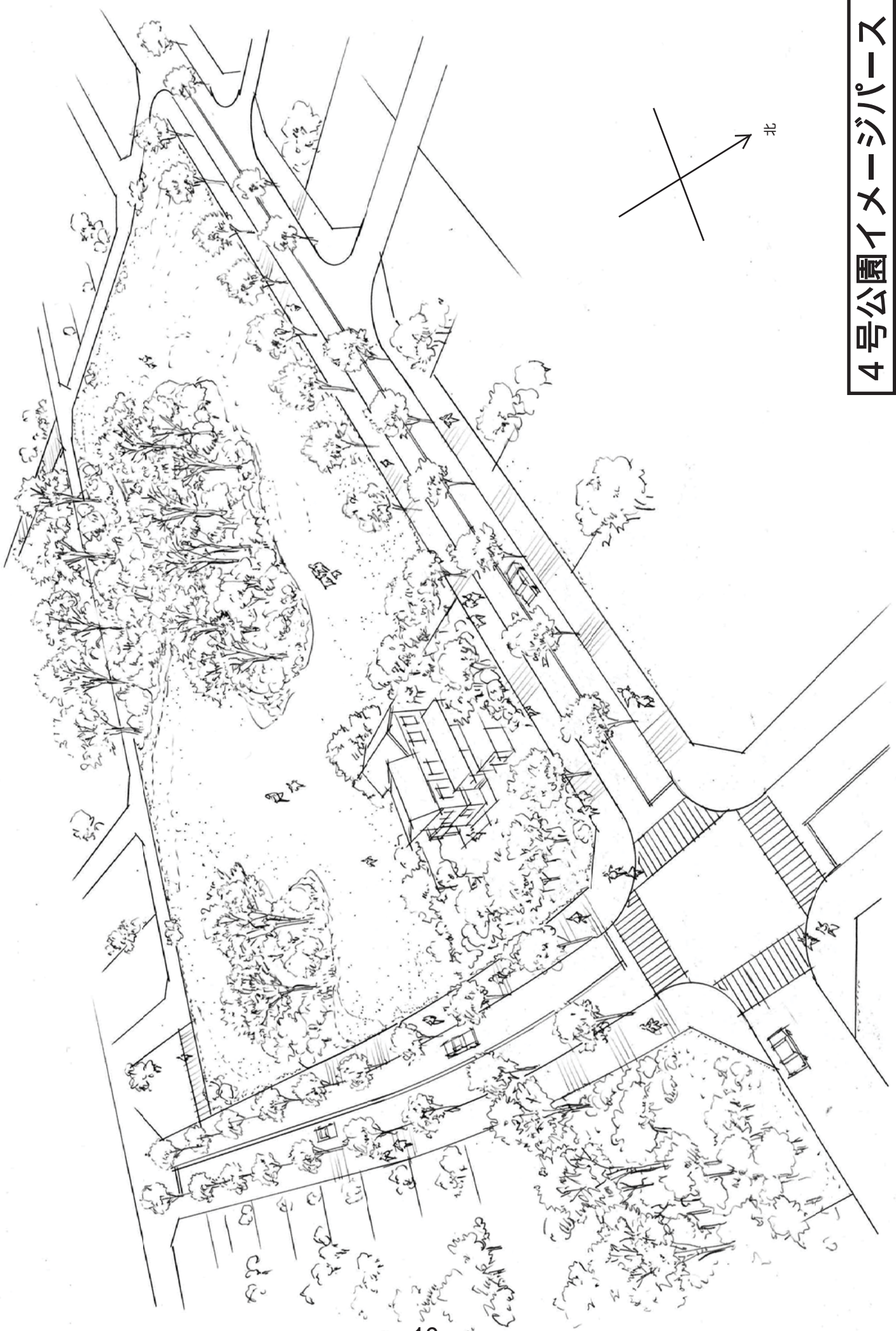


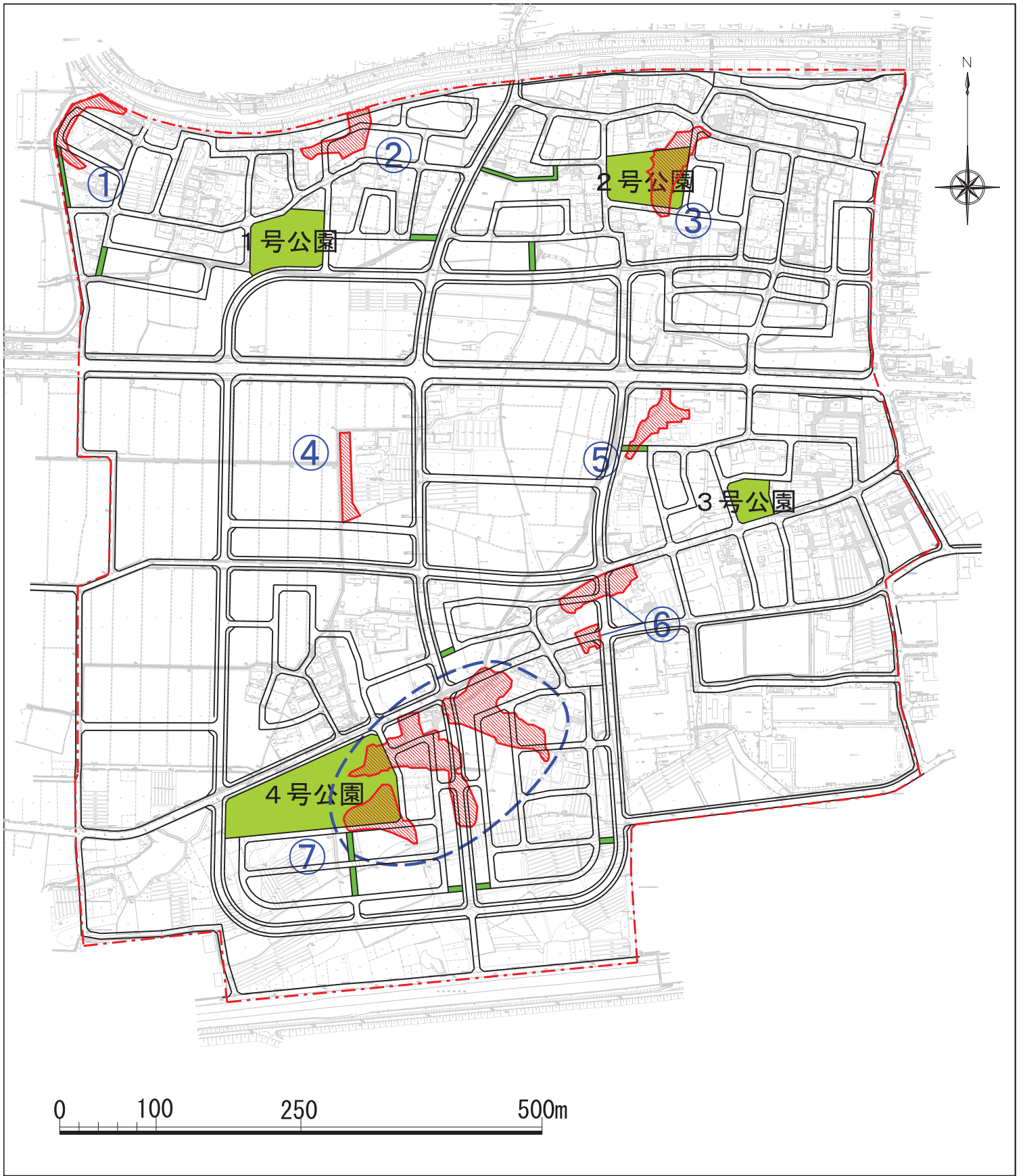
樹林⑦拡大図 (計画案)







- 既存家屋
- 計画道路
- 公園
- 現況線
- 計画線
- 樹木群 (幹の位置で確認)
- 歩行者専用道路
- 植栽計画 (案)
- 大径樹木

4号公園イメージパース





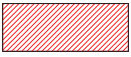



凡 例

-  現況緑地（樹林地）
-  公園
-  歩行者専用道路
-  事業区域界

公園計画図
(当初)



凡 例

-  現況緑地（樹林地）
-  公園
-  歩行者専用道路
-  事業区域界

公園計画図
(変更)